

# 学校図書館支援センター通信 NO.17 2月号

平成20年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 家庭で、地域で、学校で！

### 地域で！

1月25日（日）メディアパーク3階を会場に、「市川子どもの本の会」が主催する『百人一首大会』が開かれました。昭和58年から始められ、今年で26回目を迎えます。校内百人一首大会で鍛えられた小学校1年生から中学生まで約150名が参加し、楽しく腕前を發揮していました。

子供の読書活動の推進に取り組む団体が小中学生を集めて百人一首大会を開催したり、校内で学校図書館行事として実施したりしている学校が多いことが、市川の特徴です。

「家庭で、地域で、学校で！」市川が「読書の街」として歩んできた「礎」がここにあります。



### 学校で！

#### 新春『百人一首かるた大会』！～ 新浜小学校 ～

『子どもたちが進んで美しい日本語に触れる機会を持つと、今年度は百人一首に取り組みました。毎月20首ずつを図書館だよりに紹介。1月のかるた会の開催を知らせ、読書月間にはクラスごとのかかるた会に取り組んで来ました。全校の大会としては初の試みでしたが参加児童は100名を超え、どの子も一生懸命に覚えています。予選は、低学年高学年別に4回行いました。児童の関心をさらに高め、来年度も取り組みたいと考えています。（新浜小学校 司書教諭 貝塚輝子）』



緊張感あふれる決勝戦

1月29日（木）は決勝戦が行われました。多目的室に「ござ」を敷いて、予選を勝ち抜いた1～6年生までの1グループ4・5人構成で6グループに分かれての対戦です。

「春の海」のBGMが静かに流れ、友達の応援に駆けつけた子どもたちが大勢見守る中、「百人一首同好会」の萩原さんの読み上げる声が室内に響きます。その声に一心に耳を傾け、取り札を真剣に目で追う子どもたち。「ハイッ！」ほとんどの子どもたちが、上の句を詠み終わらないうちに、見事に札をとっていきます。

静かな落ち着いた雰囲気の中、非日常の世界の心地よさをじっくり味わっているようでした。

百人一首大会は、かるた遊びをしながら、古典の表現に親しみ、日本の伝統文化に触れることができる貴重な体験の場です。暗唱したり、朗読したりする活動は、「美しい日本語の使い手の育成」を図り、子どもたちの言語環境を整える活動とも言えますね。

### ～ お願い ～

年度末を迎え、次の2点の提出をお願いいたします。（各小・中学校対象）

①「学校図書館年間利用計画（平成20年度実施分）」

②「市川市学校図書館チェックリスト」

※ ①はメールで、②はFAXか文書便で、それぞれ【教育センター】まで提出してください。

※ 提出期限 平成21年3月11日（水）（なお、上記については、各校長宛文書にてご依頼しております。）

### 家庭で！

#### 子どもの心に種を蒔きましょう！ ～「子どもの本の読み聞かせ講座」～



2月8日（日）、「子どもの本の読み聞かせ講座」が、メディアパーク3階で開催されました。本講座は、文部科学省の委託事業「子ども読書地域フロンティア事業」の一環として、千葉県教育委員会が主催する講座で、県内5地区（北総、東葛、南房総、葛南、東上総）で順次開催されています。

3歳から8歳（年少から低学年）までの子どもとその保護者、読み聞かせに興味のある方を対象にして、本の読み聞かせを楽しく体験し、その大切さを学びます。

講師は、「市川子どもの本の会」の皆さんと市川市中央図書館の司書、石井嘉奈子さんです。70名の定員対して、なんと130名の事前申し込みがあり、保護者の皆さんの読み聞かせへの期待と関心の高さが伺えます。

第1部は、石井さんから保護者の皆さんへ「家庭（親子）での読み聞かせの心得」についてのお話がありました。「読んであげるではなく一緒に楽しみましょう。」「早期教育ではありません。」「長く読み継がれている本を信頼しましょう。」「もう1回！には、なるべくこたえてあげましょう。」など、石井さんの一言一言に保護者の皆さんもうなずきながら聞いていらっしゃいました。

第2部は、『絵本ワークショップ～親子で本の世界を楽しもう～』の開催。子どもたちは、『子どもの本の会』の皆さんによる絵本の読み聞かせやエプロンシアターに大喜び。また、保護者の皆さんは実際に絵本を選書し、お子さんへの読み聞かせを体験しながら親子一緒に楽しい時間を共有していらっしゃいました。保護者の皆さんの温かなまなざしに包まれて、子どもたちの穏やかな笑顔が光っていました。

読み聞かせの効果は、目に見えないもの。だからこそ、「子どもの心に種を蒔く」読み聞かせを大切にしたいものですね。



石井嘉奈子さんの講演

## 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



鶴指小では今、図書委員会の子どもたちによる《冬の図書室大集合！》という行事を行なっています。業間休みに、図書委員の手作り大型すごろく・鬼にまつわる本の読み聞かせやクイズ・手作り福笑いを実施して、たくさんの友達に来てもらおうと一生懸命準備しました。今年度の図書委員会の目標は、「静かな図書室・本を大切にするつるさしっ子」ですが、この時期だけは第二図書室から、にぎやかな声が響きます。

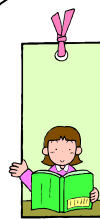
このようなイベントや日々の活動を通じて、多くの子どもたちに本の世界の楽しさを伝えたいと思っています。

（鶴指小学校 学校図書館員 小川美恵子）



冬の図書室大集合！

### 路子の部屋



「市川市学校図書館フェスティバル」は全国からの参加者で大いに盛り上がりましたね。市内の校長先生方のご協力に頭の下がる思いでした。午後の分科会にも多くの校長先生が熱心に参加されていました。司書教諭、学校司書、学校図書館員のみならず全員で支えてくださいました。市川市の図書館関係者の底力を改めて認識できた催しでした。この「フェスティバル」が来年度以降の市川市の学校図書館に大きな力を与えてくれると確信しています。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

